

町長コラム

海田町長
西田 祐三

海田町の魅力発信について

爽やかな春の陽気の中、いよいよ新年度がはじまります。

このたびの予算は、私が町長に就任してから初めて編成した予算です。地区の特性に合わせたまちづくりを進めていくため、「まち まるごと オンリー・ワン」の考えで編成しています。主な内容は、今月の「広報かいた」でご紹介していますので、ぜひご覧ください。

さて皆さんは、人から「海田町はどんなまち？」と聞かれて、どうお答えになりますか？

例えば、古代の貝塚・古墳などの遺跡があるまち。西国街道・旧千葉家住宅などの江戸時代の町並みが残るまち。神社仏閣の伝統的な行事や祭りなどの文化が根付くまち。古くから交通の要衝として栄えた、多様な産業が立地するまち。日本人初のオリンピックピック金メダリストの織田幹雄さんや元広島カープの三村敏之さんなどのトップアスリートを輩出したまちなど、いろいろと思いつくことができるでしょう。

ただ、海田町の魅力として町内外の人に広く知られているかとなると、残念ながら、まだまだだと思います。

このことは、昨年、開催した地方創生の「海田町まち・ひと・しごと創生総合戦略会議」のなかでも、指摘されています。そこで今年度から本格的に海田町の魅力の創造や発信に力を入れていくことにしました。

海田町と言えば「〇〇」のイメージを広く定着させるためには、県内はもちろんのこと、東京圏や関西圏にお住まいの方にも、強く発信していく必要があると考えています。

そのためには目で見て分かるように動画やポスターの作成などのほか、町内外の各種イベントを通じてしっかりとPRしてまいります。

より効果を発揮するため、古くから加工販売が盛んに行われている海苔を使った特産品開発を広島安芸商工会や事業所の皆さんなどと連携して行う予定です。もちろん、豊かな自然が育んだ瀬野川の伏流水を原水とする「海田の水」や、町花ひまわりをモチーフにした「ひまわり煎餅」も、引き続き大きな魅力として発信してまいります。

これらを契機に、まちの魅力を最大限に生かしながら、未来に向かって新たな文化や歴史を創造し、交流人口の増加や賑わいの創出を図ってまいります。

まちの話題

仲間と走る

第34回 海田町駅伝大会

2月21日、瀬野川河川敷で第34回海田町駅伝大会が開催されました。ゲストランナーに新井広憲さんを迎えた今大会は783人が参加し、チームメイトにたすきをつなぎました。



▲全員でつないでゴール！

海田町を知ろう・調べよう・まとめよう

総合的な学習の時間

先月1日海田西中学校1年生の生徒が、町長、教育長に職業インタビューをしました。

町長には「これからの取り組みについて」、教育長には「生徒に求めること」など、さまざまな質問をしました。2年生での職場体験に向けて、働くことについての学習を進めています。



▲インタビューをする生徒の皆さん

地域の見守りボランティアの皆さん、「いつも見守ってくれて、ありがとう」

学校安全ボランティア感謝の会

2月23日に海田小学校で、先月1日に海田東小学校で安全ボランティア感謝の会が開催されました。児童生徒の登下校時の安全を確保するため、見守りボランティアを実施している地域の皆さんへ、児童から感謝の手紙や歌が贈られました。

※感謝の会は、他の小学校においても年1回行われています。



学校安全ボランティア 学校教育課 ☎823-9216 ☎823-9256

登下校中の子どもの見守りをする学校安全ボランティアを募集します。
活動内容◆登下校中の時間帯と下校後の子どもの見守りです。活動希望者の可能な場所・時間帯で行います。
申し込み◆随時、学校教育課（加藤会館2階）または各小中学校で受け付けています。（帽子と腕章を貸与します。また、希望者はボランティア保険に加入できます。）

練習の成果を発揮

海田公民館まつり

先月5日、6日に海田公民館まつりが開催されました。両日とも講座生は、作品展示やステージ発表で日頃の成果を披露しました。前日祭では「海田西中学校演奏会」が開催され、来場した皆さんは演奏に聴き入っていました。当日祭での石見神楽長澤社中の神楽は迫力満点で、大歓声が上がっていました。



▲大迫力の神楽

副町長 就任

4月1日付けで、胡家 亮一氏が副町長に就任しました。

略歴◆

昭和57年4月広島県庁に採用され、総務部、福祉保健部、商工労働部などを経て、竹原市総務部長として派遣。議会事務局秘書課長、総務局分権改革課長、総務局地方分権推進課長などを歴任。広島市西区在住。56歳。



教育長 就任

4月1日付けで、田坂 裕一氏が教育長に就任しました。

略歴◆

昭和59年4月から中学校教諭や広島教育事務所等に勤務した後、文部科学省に派遣。尾道市立土堂小学校長、広島県教育委員会教育部参与などを歴任。広島市中区在住。55歳。



くらしの中の消費者トラブル

生活安全課 ☎823-9219
☎823-7927

「電力小売り全面自由化 便乗商法に注意して」

（独立行政法人国民生活センター発行「見守り新鮮情報第243号」より転載）

■相談内容■

「2016年4月に電力料金自由化になる。その前に太陽光発電システムを設置し、電気を売電すれば儲かる」と電話があり、自宅で業者の説明を聞いた。設置料金は200万円ほどで、ローンを組むと月々1万円の支払いという。しかし、説明通りの売電金額が約束されているわけでもなく、年金暮らしの自分がローンを抱えることにも不安になった。

■アドバイス■

電力の小売り全面自由化を口実にして、太陽光発電システムや、プロパンガス、蓄電池などの勧誘が行われています。

電力の契約は地域ごとの電力会社との契約でしたが、2016年4月からは小売り自由化により、多様な業種や業態の事業者の中から契約を選択できるようになり、今後さまざまな勧誘が行われることが予想されます。電力小売り自由化に関しては、制度や条件などをしっかりと情報収集し、よく理解しておくことが必要です。

疑問や不安を感じたときは、早めに窓口などに相談してください。

■相談窓口■

海田町消費生活相談コーナー
☎82319219

受付◆月～金曜日9時～17時（祝日を除く）
木曜日は、消費生活相談員がいます。

場所◆生活安全課（役場2階）
広島県生活センター☎22316111

受付◆月～金曜日9時～17時（祝日を除く）
場所◆広島市中区基町10-52
（県庁農林庁舎1階）

